



園だより 8月号

YMCA 保育園ねがい

2023年8月7日発行

「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。」 創世記9章13節

厳しい暑さや台風などによるゲリラ豪雨。天気によるストレスが今年は特に身体にこたえます。そして、ひさしぶりに規制のない旅行やイベントなど、生まれて初めての経験にびっくりしている子どもたちもいるではないでしょうか。

新しい価値観も取り入れて、大人も子どもといっしょに元気に夏を楽しみたいと願っています。

7月には、5歳児(にじ組)14人が東京YMCAで100年続いている「山中湖センター」でキャンプを行いました。豊かに恵まれた「空間・仲間・時間」を一人ひとりの感性のままに6年間の人生で培った知恵をしばって考え、行動した2日間でした。少し、切ない気持ちになる事があっても、全員元気に過ごせました。お支えくださったすべてのみなさまのご協力に感謝いたします。

「にじ」

にわのシャベルが一日ぬれて 雨があがって くしゃみをひとつ
くもがながれて 光がさして みあげてみれば
ラララ にじがにじが 空にかかって きみのきみの 気分もはれて
きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気

作詞：新沢としひこ 作曲：中川ひろたか

8月のトピックスは「虹」です。聖書には大洪水のあと神様が、私たちに命と希望を与えたとあります。その祝福のシンボルが「虹」でした。土砂降りの雨が降った後に虹が現れるように、今が上手くいってなくても、何がおきても、未来は希望です。希望の約束のかけはしとして七色のアーチが空にかかるのだと思います。

新澤 誠治さんが天に召されました。東京YMCAの保育アドバイザーとして亡くなるまでずっと私たちを導き、日本の児童福祉と地域の子育て支援の基礎を築かれた第一人者として、お働きを全うされました。ご長男が「にじ」を作詞された新沢 としひこさんです。

私たちも心の虹を失うことなく、愛されている事を信じ、自分を愛し、ファミリーと隣人と愛を分かち合っていきましょう。平和を造り出す人になることを祈ります。

(園長 今井 世都)